

大塚地区保育園設計業務プロポーザル審査結果報告書

令和6年8月10日

大塚地区保育園設計業務プロポーザル方式業者選定委員会

令和6年4月2日（火）に公告した大塚地区保育園設計業務プロポーザルについて、審査結果を報告する。

1 審査結果

大塚地区保育園設計業務プロポーザル方式業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、一次審査及び二次審査において審査を厳正かつ公正に実施した結果、次の者を優先交渉権者に特定した。

優先交渉権者：株式会社 PERSIMON HILLS architects

2 優先交渉権者及び次点交渉権者特定までの経過

(1) プロポーザル方式による実施の決定

蒲郡市プロポーザル方式実施要綱第5条の規定に基づき、令和6年3月14日（木）に業務概要、プロポーザル方式を採用する理由等についてプロポーザル方式実施協議書により総務部長に協議し、令和6年3月14日（木）にプロポーザル方式による実施を可とする回答を受けた。

(2) 選定委員会の設置

蒲郡市プロポーザル方式実施要綱第6条及び大塚地区保育園設計業務プロポーザル方式業者選定委員会設置要綱第3条に基づき、令和6年4月1日（月）に選定委員会を設置した。

(3) 大塚地区保育園設計業務プロポーザル公募要領（以下「公募要領」という。）の策定

令和6年4月1日（月）公募要領を策定した。

(4) 公告

令和6年4月2日（火）に公告した。市掲示板に掲示したほか、市ホームページに掲載した。

(5) 現場説明会

公告の日から令和6年5月8日（水）午後3時までの期間で受付を行い、86者から説明会参加希望があった。

現場説明会は、令和6年5月11日（土）午前10時から午後2時15分の間で、4班に分け実施した（市説明後は、制限時間まで各自現地見学可）。

(6) プロポーザルに関する質問書の提出と回答

令和6年4月15日（月）から令和6年5月15日（水）午後3時までの期間で質問書の提出を受け、52者から質問書が提出された。

令和6年4月26日（金）、令和6年5月10日（金）及び令和6年5月20

日（月）の計３回、質問に対する回答を市ホームページで公開した。

(7) 参加表明書の提出

令和６年４月２日（火）から令和６年５月２４日（金）午後３時までの期間で受付を行い、１０９者から参加表明書が提出され、うち２者は参加資格を有していなかったため、参加資格者は１０７者となった。

(8) 一次審査書類の提出

令和６年６月３日（月）から令和６年６月２４日（月）正午までの期間で受付を行い、７５者から一次審査書類が提出された。

なお、参加資格者１０７者のうち、３２者（うち１６者から辞退届の提出あり）からの提出はなかった。

(9) 一次審査の実施

令和６年６月２８日（金）に開催した第２回選定委員会において、一次審査書類を提出した７５者を対象に後述のとおり一次審査を行い、５者を二次審査の対象者に決定した。

令和６年７月５日（金）に、一次審査の結果を、市ホームページに公開及び一次審査通過者にメールで通知した。

(10) 二次審査書類の提出

令和６年７月２９日（月）から令和６年８月１日（木）正午までの期間で受付を行い、５者から二次審査書類が提出された。

(11) 二次審査（プレゼンテーション）の実施

令和６年８月１０日（土）午後１時から午後３時３５分に大塚公民館３階集会室において、二次審査となるプレゼンテーションを公開で実施した。

傍聴者は、１３人であった。

(12) 二次審査の実施と優先交渉権者、次点交渉権者の特定

令和６年８月１０日（土）に開催した第３回選定委員会において、５者を対象に後述のとおり二次審査を行い、優先交渉権者１者、次点交渉権者１者を特定した。

3 一次審査

一次審査は、第２回選定委員会（令和６年６月２８日（金）Zoom ミーティングにて開催）において、一次審査に必要な技術提案書を対象に審査を行った。

７５者の技術提案書について、(1)実施設計実績及び自己アピールと(2)業務の執行体制（記名）、及び(3)業務に対する取組と(4)コンセプト及び基本構想と(5)施設計画の提案（匿名）を、(1)(2)と(3)(4)(5)が紐付かないように各選定委員が評価を行い、委員間で十分な意見交換を行った後、評価の高い上位５者を二次審査の対象者に決定した。なお、一次審査結果は、別紙１の通りであった。

4 二次審査

二次審査は、プレゼンテーション（令和６年８月１０日（土）大塚公民館３階

集会室にて実施)として、二次審査対象者に10分間以内の説明と15分間程度の質疑応答を行った後、第3回選定委員会(プレゼンテーション後、同集会室にて開催)において、二次審査用図書及び模型を対象に審査を行った。

各選定委員が各案の評価すべき点、懸念される点などについて意見を述べた後、これらの意見や考え方について十分な議論を行った。その上で各委員が個別に評価を行い、評価点の合計が最も高い者を優先交渉権者、次に高い者を次点交渉権者に特定した。なお、二次審査結果は、別紙2の通りであった。

5 審査講評

本プロポーザルは、大塚地区にある2つの保育園を統合してサービス水準を向上することを目的とし、地域の特性やニーズ、期待を取り込んだ柔軟な発想による提案を求めており、子育て世代に近い年齢層の建築家を対象としてプロポーザル方式により受託事業者を募集しました。若い建築家には公共施設を設計する機会の少ない現状がある中、設計者の条件に約45歳以下という年齢制限を設けることで、若い世代に門戸を開いた点でも注目されるプロポーザルとなりました。

1次審査では、75組からの応募がありました。個性的で魅力的な提案が多く集まり、その中から評価の高い上位5者を二次審査の対象者に決定しました。2次審査に進んだ5案は、どれも異なる方向性をもつ提案で、複数の審査委員から高く評価されたものばかりです。いずれも何らかの側面で優れた長所を備えていましたが、一方で、どの案にも一長一短の側面があり、全体の配置計画を含めた建築計画面、蒲郡・大塚の地域を踏まえた意匠面、構造・環境などの技術的側面や保育者視点での評価など、多角的視点で議論・評価が行われました。

優先交渉権者に選ばれた提案は、大塚の自然に溶け込む優雅な大屋根の下で多様な居場所をつくりだしつつ、エントランスから「おおつか広場」を通して園庭へと内外をおおらかに繋ぐ優れたデザインと評価されました。今後、解消すべき課題はあるものの、この建築を「大塚のこどもたちの原風景にする」という空間の強度は損なわれないと説得する力がありました。幾多の課題を乗り越え、竣工時には、この提案が選ばれたことに他の応募者全員が納得し、蒲郡市のみなさまが喜んでくださり、大塚のこどもたちの原風景が作りだされることを切に願います。

最後に、本プロポーザルに参加し惜しくも選定されなかった方々におかれましては、提案書の作成等に多大なる時間と労力を費やし、柔軟な発想による個性的な提案を頂きましたことに、選定委員会委員一同感謝の意を表します。

別紙 1

一次審査結果

登録番号	合計 (100 点中)	順位
IE00000399 (株式会社 PERSIMMON HILLS architects)	88.6	1
IE00005283 (株式会社 OSTR)	82.4	2
IE00000914 (一級建築士事務所 山下貴成建築設計事務所)	82	3
IE00006224 (株式会社志垣デザイン店)	82	3
IE00009170 (株式会社横井創馬建築設計事務所)	82	3
IE00007466	81.8	6
IE00005500	81.6	7
IE00009965	81.4	8
IE00001647	81.2	9
IE00003681	80.4	10
IE00010364	79.4	11

IE00003030	79.2	12
IE00002815	76.8	13
IE00003795	74	14
IE00000188	73.8	15
IE00004967	73.8	15
IE00006099	73.8	15
IE00005383	73.6	18
IE00008856	72.4	19
IE00003558	72.2	20
IE00005886	72.2	20

(2 2位以下、省略)

別紙 2

二次審査結果

登録番号	合計 (100 点中)	順位
IE00000399 (株式会社 PERSIMMON HILLS architects)	75.8	1
IE00006224 (株式会社志垣デザイン店)	72.4	2
IE00005283 (株式会社 OSTR)	71.8	3
IE00000914 (一級建築士事務所 山下貴成建築設計事務所)	68.2	4
IE00009170 (株式会社横井創馬建築設計事務所)	67.8	5